

# KANASAの歩み

## (1) 創刊から9号まで、そして……

東京秋工会 幹事

**松木 一美**

(昭和48年機械科卒)



東京秋工会会報「KANASA(金砂)」が創刊20周年を迎えました。昨年の19号から会報の制作に復帰させていただくこととなりましたが、14号の後の4年間、何のお手伝いもできなかった私としては、20号まで守り続けてくださった編集長の加賀谷先輩(S36E)をはじめとする編集委員の皆さんには、感謝とともに頭の下がる思いでいっぱいです。本当にありがとうございます。

さて、「KANASA(金砂)」は1993年(平成5年)9月創刊ですが、話はその3年ほど前に遡ります。

当時はバブル景気崩壊直後だったこともあり、年会費(当時は1,000円)の納入者数や総会出席者数は減少傾向で、会の運営は大変な状態。その打開策として検討されたのは年会費のアップと、会の活性化を図るための新たな企画を打ち出すことでした。

年会費のアップはその後の総会で承認され、翌年それに併せ、二つの企画が実施されることとなりました。その一つがゴルフ同好会の設立と年2回のコンペの実施で、担当幹事は三平さん(S39A/現会長)。そしてもう一つが会報の創刊で、デザインを仕事にしている関係から私が制作を担当することとなりました。

多少の知識はあったとはいえ、当時の私にとっては会報の制作は専門外、ましてや基本的な構想から掲載する記事・原稿の依頼と入手、賛助広告のお願い、制作に係る費用の算段等々、会報づくりには事前の準備に時間と手間がかかる上、当時ページ数のある印刷物は黒1色といえどけっして安いものとはいえませんでしたから、会の台所事情などを考えると少々気重でした。

案の定というか、諸事情により、その年度での会報の創刊は見送られ、代わり(?)として総会の案内と一緒に、笹淵先輩(S21Y/現顧問)のエッセイをメインにした案内報(B4片面版)をお送りした

のですが、覚えておいででしょうか？ 会報創刊の前々年と前年の2回お送りしています。残念ながら最初のはデータを消失してしまいましたが、創刊前年(平成4年)のものは当会ホームページでご覧いただけます。

と、そんなこんな経緯の後、1993年(平成5年)9月、当時の澤木会長(S26E/現名誉会長)、斎藤幹事長(S26M/現顧問)をはじめとする役員・幹事の皆さんのサポートの下、東京秋工会会報「KANASA(金砂)」は創刊されました。

その後、9号まで制作全般の担当させていただき、どの号にも思い出がありますが、その中でも特に思い出深いのはKANASA/Vol.2で、秋工出身者としては異色の先輩、俳優としてご活躍されていた、森幹太さん(本名：鈴木威/S16S)を掲載させていただいた時のこと。

私一人で話しを伺いに行くことになり、著名な大先輩を前にどう話を進めたらいいのかドキドキものでしたが、森さんはそんな私の状態を察してくれたのか、ご自分からお話しを切り出し、進んでいろいろなことをお聞かせくださいました。そのことに深く感激し、後日書いた文章は力の入り過ぎたものになってしまい、今読んでも赤面してしまいます。

それともう一つ、会報制作に直接関係したことではありませんが、制作が一通り終わった後、がんばっていることへのご褒美と称して何度かご自分の行きつけの店へつれていってくださった先輩がいました。オリンピック体操競技ゴールドメダリストの遠藤幸雄さん(S30E/当時副会長)です。

今はお二人ともに故人となりました。寂しい限りです。

30才で初めて東京秋工会総会に出席し、32才でばっち(末弟)の幹事にならせていただいた私も、還暦に近い年齢となりました。

4年のブランクを経て、「KANASA(金砂)」の創刊20周年に合わせるように幹事並びに編集委員に復帰することとなったのは、お前にはまだやり残していることがたくさんあるぞとの啓示なのかもしれません。これまでの経験を踏まえ、加賀谷編集長の下でグレードアップした「KANASA(金砂)」を、この先いかにして後輩諸君にバトンタッチしていくか……。大きな課題です。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



Vol.9

### K.F's Design History

右は1986年にデザインを手掛けた作品(製品)。リラクゼーションを目的とする椅子型の体感音響装置。音響(音楽)療法やリラクゼーションルームなどに活用され、また著名な医師たちにより設立された日本バイオミュージック学会で使用され、医療の分野において話題を集めた。同製品は現在は生産されていないが、体感音響技術関連の事業は現在も健在で、思いもよらない分野でその効果を発揮している。

プロダクトプランナー&デザイナー **松木 一美**  
(昭和48年機械科卒)

**P&D\_KFworks** | 埼玉県新座市野寺5-6-20 〒352-0034  
携帯.090-3049-7291  
E-mail kf-works@sea.plala.or.jp

### Bodysonic Refresh-1 Design at 1986

